

関東三大不動 不動ヶ岡不動尊總願寺

せつぶんえ 節分会 「鬼追い豆撒き式」

関東三大不動のひとつとして名高い「不動ヶ岡不動尊總願寺」で江戸時代から続くとされる伝統祭事「節分会 鬼追い豆撒き式」が行われます。この行事は、3匹の鬼が堂の回廊を荒々しく駆け巡ることから全国的にも珍しい勇壮な行事といわれ、毎年多くの参詣客が訪れます。

12時、16時、20時30分（予定）に、同山の 山口眞司 住職らによって、開運招福や厄除、交通安全等を祈願する大護摩供が盛大に厳修され「鬼追い豆撒き式」が行われます。

長さ約3m、重さ約30kgの大松明（おおたいまつ）を掲げた赤鬼を先頭に、剣を振りかざす青鬼、棍棒を担いだ黒鬼が登場し、不動堂の回廊を荒々しく駆け回ります。

真っ赤に燃え盛る大松明の火は大護摩供で焚かれた火を移したもので、赤鬼が勢いよく振り回すこの松明の火の粉を浴びると、その一年間は息災に過ごすことができるといわれています。

- 1 開催日時 令和2年2月3日（月）11時～
- 2 開催場所 不動ヶ岡不動尊總願寺（加須市不動岡2-9-18）
- 3 内 容 稚児練供養（11時～）
（予定）大護摩供・鬼追い豆撒き式（12時～、16時～、20時30分～の3回）
各種催物（境内及び門前通り）
※催物の内容及び芸能人等ゲストの有無は未定です。

〔以前の様子〕

